

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [神戸大学附属中等教育学校] 担当教諭名 [大森 正堂・岩見 理華・軽尾 弥々・柴田 美帆子]
 (生徒会グローバルキャリア・コミッティー(GCC)ユネスコスクールアートマイルチーム 3-4年生 28名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Taipei Municipal Ying-Qiao Elementary School] 担当教諭名 [Wan-Ting Shih]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	放課後等の課外活動	ランチミーティング、自己紹介動画制作、自己紹介カード制作、相手校とのテレビ会議、テーマ学習、構図の検討、壁画の制作	約40

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	生物多様性
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	近年、台湾も日本も豊かな自然が脅かされつつあり、貴重な生物たちが危機に瀕しています。その原因は何か、どう対策を講じればよいのか、日本、台湾それぞれの国の中学生・高校生にできることは何か考えながら描きました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、前年度参加者が活動をリードし、制作作業を円滑に進めることができた。 ・役割ごとにリーダーを決め、生徒主体で、ランチミーティング等を行って構図を決定し、色付け作業を行うことができた。 ・自国・相手国の文化だけでなくテーマに関する課題を理解する態度を育てることができ、英語によるコミュニケーションへの意欲も高めさせることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手側の人数が多いとテレビ会議がだれてしまう場合がある。 ・テレビ会議でうまく伝わらなかったことは、後で文書で知らせるなど、学習を深めるためにテレビ会議後のフォローが必要である。 ・相手側の通信手段が主に SNS であったので、両国共にフォーラムの活用が十分にできなかった。 ・ESD、SDGsといった概念が相手側に十分伝わらなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
3年生は教科 ESD で壁画テーマの「生物多様性」について学習していたので、壁画制作を通してこれまでの学習を振り返る機会になった。改めて日本で起こっている生物多様性についての問題を認識できた。また、英語によるコミュニケーション能力を向上させたいという意欲も高まった。構図決定のテレビ会議では、相手側の意見を尊重しながらゴールを達成することの大切さに気づいた。	今回初めて交流相手校を本校で受け入れた。直接交流をすることで、相手のことがよく理解でき、互いに友好を深めることができた。1日の交流でこれほど国際交流に対する生徒の意識が高まるのであれば、メールやフォーラム、テレビ会議などのコミュニケーションツールを使って事前にもっとお互いを知る機会を作っておくべきだと思った。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	ランチミーティングで活動について話し合い、役割を決定した。互いに自己紹介の動画を撮影し、フォーラムに投稿した。	動画撮影には iPad を使用した。友だち同士で練習をして、納得するまで撮影し直すなど熱心に取り組んでいた。	昼休み 放課後 4
共有 テーマ学習	10月	テレビ会議を行い、互いの国の文化について紹介した。相手校からいくつか壁画の構図について提案があった。	学校や自分たちの地域神戸、日本文化を紹介するため、練習に熱心に参加していた。お互いメッセージが伝わったときはとてもうれしそうだった。	放課後 2
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	台湾から提案された構図をもとに本校デザインチームが数回ランチミーティングを行って複数のパターンを作成し、テレビ会議で合意を得て構図を決定した。	相手側の意見も尊重しながら、壁画を決定していくプロセスを経験して、文化の異なる相手と協調することの大切さを改めて認識することができた。	昼休み 放課後 5
創造 壁画制作	12月 ～ 2月	プロジェクターを使用して下絵を描き、色付け作業を行い、フォーラムに写真を投稿した。相手校からは制作の様子を写真をフォーラムに投稿してもらった。	昨年度参加した4年生をリーダーとして制作を進め、学年を越えた協力関係を築くことができた。今年度はほとんど教師の指示なしで自主的に活動することができた。	昼休み 放課後 22
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	本校の「授業研究会」において、代表生徒がアートマイルの取組についてポスター発表を行った。3月に相手校が完成壁画を持って本校を訪問してくれたので、一緒に壁画を鑑賞することができた。新年度には全校集会で完成壁画を披露し、5月の文化祭、6月のオープンスクールで展示して地域の方々にも見ていただく。	「授業研究会」には約200名の参加者があり、他校の先生方からの質問にも答えることができた。相手校受入れの際には、歓迎式のパフォーマンスや ESD(生物多様性)の合同授業、茶道体験など様々な形で交流を深めることができ、わずか1日の交流ではあったが、貴重な経験ができたようである。	放課後 全校集会 (予定) 7

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	テレビ会議で発表する日本文化の内容について熱心に調べたり実演したりする等、見せ方に工夫を凝らしていた。
異文化を理解する力	4	相手国が壁画に描いてくれたものについて説明してくれるときに興味を持って聞いていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	課題研究を行っているため日頃より情報機器の使用には慣れており、本活動を行ったから情報活用能力がついたとはいえない。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	相手校の生徒が中学低学年であることも関係して、英語によるコミュニケーションがうまくできなかったが、本校受入れの際には、絵やジェスチャーで説明したりして、積極的にコミュニケーションをしようする態度が見られた。
批判的に思考する力 (客観的・批判的視点)	3	テーマ(生物多様性)について、お互いもっと相手校の国の課題について学びを深められたらよかった。
主体的に考え行動する力	5	デザインチーム等、役割を決めて生徒が主体的に打ち合わせの会議を運営したり、作業を進めたりすることができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	連絡を取り合うことや、打ち合わせの会議、壁画制作作業を通して学年を越えた協力関係を築くことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画デザイン)	5	相手側の意見も尊重しながら、共通テーマに沿うようなデザインを一生懸命考えていた。テレビ会議で丁寧に説明し合意を得ることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	交流校が本校を訪問してくれたので、本校において一緒に作品の鑑賞を行うことができた。直接壁画に描いたものについてそれぞれに思いを説明することができた。